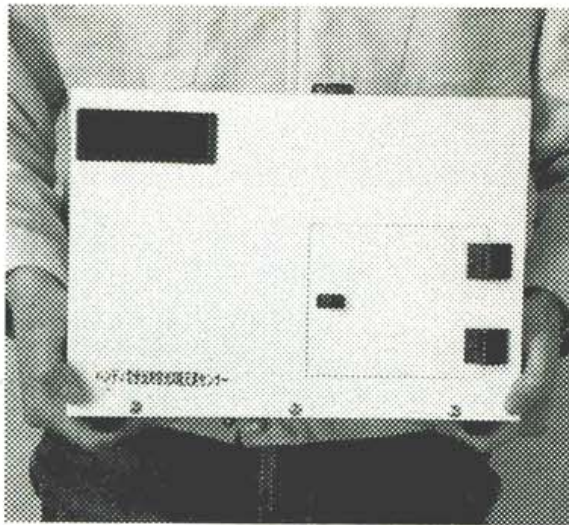


微弱X線で有害元素測定

アワーズ
テックズ
地下水・食品向け小型化



アワーズテック（大阪府寝屋川市、中嶋佳秀社）は、水中の鉛や

長、072・823・9361）は、水中の鉛やヒ素、クロムなどの有害元素を測定する装置（写真）を9月2日に発売する。価格は約600万円を予定。微弱なX線を用いる全反射式分析法を採用して、現在主流のシンクロトロン放射装置に比べ大幅な小型化と低価格を実現した。本体サイズは幅312ミリ×奥行き125ミリ×高さ228ミリで、重量は約6キログラム。

ン放射装置に比べ大幅な小型化と低価格を実現した。本体サイズは幅312ミリ×奥行き125ミリ×高さ228ミリで、重量は約6キログラム。試料台の上に検査対象の液体の乾燥残さを載せ、X線を照射して試料から発生する蛍光X線のエネルギー値と強度を測

定、含有元素の種類と濃度を判定する。全反射蛍光X線分析法を製品化した。検出下限は数十ピコグラム（ピコは1兆分の1）レベル。出力10ワット以下の非単色微弱X線管を採用し、小型化や低価格化を実現した。電源は家庭用コンセントが利用できる100ボルト。井戸水や地下水の汚染測定や食品の安全調査などの用途を見込む。研究機関や大学に、年間10台を販売目標とする。